

日本初の託児機能付きワーキングカフェ 「ママスクエア」がララガーデン川口に開業

埼玉県川口市の商業施設「三井ショッピングパーク ララガーデン川口」の2階に、日本初の託児機能付きワーキングカフェ「ママスクエア ララガーデン川口店」が4月27日にオープンした。

同店は、これまで親子向け飲食店の運営を手掛けてきた藤代聡氏が立ち上げた新会社である「ママスクエア」が運営を担う。また、丹青モールマネジメントが同社の出店戦略や立地選定などの店舗展開についてサポートしている。

出店場所を提供した三井不動産では、昨年10月に開業した「三井ショッピングパークららぽーと和泉」(大阪府和泉市)などにおいて、「ママにやさしい」をコンセプトに「ママwithららぽーと」と題して、子ども向けスペースの充実や母親のためのサポートサービスの提供に取り組んできた。今回はそうした子育て支援の取組みの一環としてママスクエアの趣旨に賛同し、出店場所の提供に至った。

ママスクエアは店舗面積約132㎡で、ワーキングスペースと託児スペース付きカフェの2つの機能・スペースから構成される。27ブースが設けられたワーキングスペースでは、リクルートジョブズやアウトソーシング系企業各社がテレフォンオペレーター業務などの仕事を提供する。仕事内容や勤務時間、勤務日数なども希望シフト制を導入

することで子育てとの両立のしやすさを確保、母親たちにとっての利便性を高めている。さらに、リンクアカデミー(アビバ)などによるスキルアップセミナーも開催し、子どもを預けながらパソコンやビジネススキルを身につけられる学びの場の創出も図る。

託児スペースはワーキングスペースからガラス越しに見える位置に併設し、保育士などのキッズサポートスタッフが常駐。利用料金は30分以内200円、以降30分ごとに160円で、1歳から就学前までの子どもが対象となる。また、教育系企業とタイアップした教育プログラムも実施する予定で、託児機能に留まらない付加価値の創造を狙った。なお、託児スペースは、ワーキングスペースおよびカフェの利用者のみが利用可能となっている。

カフェ(14席)は、藤代氏が2013年に設立し、現在インドアプレイグラウンド付きカフェを3店舗運営するディアキッズが運営ノウハウを提供している。業務の合間でのカフェ利用といった店舗内での相互利用はもちろんのこと、業務終了後には同施設内他店舗でのショッピングにつながることも期待される。

ママスクエアでは、2015年7月頃に2店舗目を開業し、以降年内に5店舗を開業する方針としている。



上—開業約1か月後の時点でワーカー登録は60名ほどで、今後の増加も見込まれている
下—ワーキングスペースとの間はすりガラスとすることで、セキュリティ面にも配慮



ママスクエアは今後、店舗面積200㎡前後の規模の店舗開発も視野に入れている